

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社構造計画研究所

コード番号 4748 URL <http://www.kke.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 正太

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 湯口 達夫

TEL 03-5342-1093

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	5,483	△3.9	△184	—	△239	—	△348	—
23年6月期第3四半期	5,705	△13.9	△109	—	△174	—	△120	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	△60.35	—
23年6月期第3四半期	△20.82	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	11,471	3,344	29.2
23年6月期	10,787	3,783	35.1

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 3,344百万円 23年6月期 3,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	—	—	10.00	10.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	7.8	560	98.0	480	135.0	20	△85.0	3.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	6,106,000 株	23年6月期	6,106,000 株
24年6月期3Q	362,336 株	23年6月期	330,101 株
24年6月期3Q	5,772,297 株	23年6月期3Q	5,800,887 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災及び原発事故の影響により大きく落ち込んでいた経済活動が、復興の動きに合わせて緩やかに回復の傾向を見せつつあります。しかしながら依然として続く歴史的水準の円高や原油の高騰、欧州経済の悪化など、景気の下振れ要因となるリスクにより、国内企業の業績悪化が懸念されるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

また、企業のソフトウェア投資につきましても、中期的な下降傾向に加え、業況の先行き不透明さから慎重な姿勢に変わりはなく、当社を取り巻く経営環境も厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中において、当社は、創業理念の主旨を堅持しつつ、より発展した理念として「大学、研究機関と実業界をブリッジするプロフェッショナル エンジニアリング デザイン ファーム」を掲げ、当社の組織に蓄積された「組織知」に加え、大学・研究機関と共同研究の中で培った「学問知」、顧客との協業の中で培った「経験知」を融合し、生み出された「工学知」(エンジニアリング)を使って、今後の復興活動や「次世代の社会構築」(デザイン)の促進に貢献できるよう努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は54億83百万円(前年同期比2億22百万円減)、営業損失は1億84百万円(前年同期比74百万円損失増)、経常損失は2億39百万円(前年同期比64百万円損失増)となりました。また、「その他有価証券」に区分される保有有価証券の一部(株式会社みずほフィナンシャルグループ第十一回第十一種優先株式)における減損処理による投資有価証券評価損52百万円及び、丸紅情報システムズ株式会社との和解金20百万円と構造設計業務に関する補修工事負担金70百万円を当第3四半期累計期間において特別損失として計上したことなどにより、特別損失は1億43百万円(前年同期比1億20百万円損失増)となりました。その結果、四半期純損失は3億48百万円(前年同期比2億27百万円損失増)となりました。

当第3四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。なお、当社では社内に蓄積されている幾つもの要素技術と経験を顧客の課題に合わせて組み合わせ、創出された解決策をソリューションとして提供しております。以下の3セグメントがシナジーを発揮することにより、より付加価値の高いサービスや製品を創出することが、当社の事業特性となっております。

【エンジニアリングコンサルティング】

当第3四半期累計期間においては、建築設計関連業務の当第3四半期累計期間に完了する案件の売上計上時期シフトにより売上高が減少いたしました。通信関連の研究開発機関向けの研究試作業務及び、防災・耐震関連の解析コンサルティング業務や建築物の免震・制振関連業務が堅調に推移したことにより、エンジニアリングコンサルティング事業における当第3四半期累計期間の売上高は23億73百万円(前年同期比1億10百万円増)、セグメント利益(売上総利益)は、8億60百万円(前年同期比1億83百万円増)となりました。

【システムソリューション】

当第3四半期累計期間においては、大手通信キャリア向けのシステム開発業務及び大手建材メーカー向けのシステム開発業務が減少したことにより、システムソリューション事業における当第3四半期累計期間の売上高は18億54百万円(前年同期比2億1百万円減)、セグメント利益(売上総利益)は、5億87百万円(前年同期比14百万円減)となりました。

【プロダクツサービス】

当第3四半期累計期間においては、マーケティング・意思決定支援ソフト及び製造・物流業務向けソフトの販売は比較的堅調に推移いたしました。製造系設計者向けCAEソフト及びネットワークシミュレーションソフトの販売が伸び悩んだことにより、プロダクツサービス事業における当第3四半期累計期間の売上高は12億55百万円(前年同期比1億31百万円減)、セグメント利益(売上総利益)は、4億19百万円(前年同期比2億46百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて19.1%増加し、43億82百万円となりました。これは、主に売掛金が4億64百万円増加する一方、現金及び預金が1億60百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて0.3%減少し、70億88百万円となりました。これは、主に建物が63百万円減少する一方、ソフトウェアが57百万円増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて6.3%増加し、114億71百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて19.3%増加し、58億10百万円となりました。これは、主に前受金が3億80百万円増加する一方、未払費用が1億91百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて8.6%増加し、23億16百万円となりました。これは、主に長期借入金が1億70百万円増加する一方、長期未払金が1億50百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べて16.0%増加し、81億26百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて11.6%減少し、33億44百万円となりました。これは、主に利益剰余金が4億6百万円減少したことによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年度6月期通期業績につきましては、売上高につきましては期初予想どおり90億円となる見通しです。営業利益、経常利益につきましては、業務の内製化により外注委託費をはじめとするコスト管理を徹底し、合理化を推進していることから売上原価、販売費及び一般管理費が計画より低減される見通しのため、期初予想を上回る見通しです。

しかしながら、当期純利益につきましては、既に公表しております「その他有価証券」に区分される保有有価証券(株式会社みずほフィナンシャルグループ第十一回第十一種優先株式)の減損処理による投資有価証券評価損52百万円及び、当第3四半期累計期間に計上された和解金及び補修工事負担金の90百万円を特別損失として計上したことなどにより、期初予想を大幅に下回る見通しです。これらの状況を勘案した結果、通期の業績見通しを以下の通り修正いたしました。

売上高	90億円	(対前期増減率	7.8%)
営業利益	5億60百万円	(対前期増減率	98.0%)
経常利益	4億80百万円	(対前期増減率	135.0%)
当期純利益	20百万円	(対前期増減率	△85.0%)

上記の業績達成に向けた施策として、①震災復興への取り組み強化、②エンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大、③プロジェクト管理の徹底、④経費の抑制に今後も取り組んでまいります。

(注) 上記の予測値は、いずれも現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる場合があります。今後通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、大阪証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

3【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,584,564	1,424,005
受取手形及び売掛金	1,203,625	1,684,089
半製品	3,484	4,550
仕掛品	370,779	736,827
前渡金	86,697	69,871
前払費用	128,474	207,093
その他	376,924	344,700
貸倒引当金	△75,160	△88,701
流動資産合計	3,679,390	4,382,437
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,094,998	2,031,799
土地	3,569,490	3,569,490
その他(純額)	99,927	117,305
有形固定資産合計	5,764,416	5,718,595
無形固定資産		
ソフトウェア	290,713	348,144
その他	12,886	12,682
無形固定資産合計	303,599	360,826
投資その他の資産		
投資有価証券	285,626	225,091
その他	795,996	829,065
貸倒引当金	△41,901	△44,838
投資その他の資産合計	1,039,721	1,009,317
固定資産合計	7,107,737	7,088,739
資産合計	10,787,128	11,471,177
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,518	352,767
短期借入金	2,680,000	2,680,000
1年内返済予定の長期借入金	930,000	1,165,000
未払金	412,574	378,929
未払費用	322,633	131,486
前受金	155,900	536,528
賞与引当金	—	304,873
その他	103,523	260,665
流動負債合計	4,871,150	5,810,250

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年3月31日)
固定負債		
長期借入金	540,000	710,000
長期未払金	350,000	200,000
退職給付引当金	1,173,237	1,307,481
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	14,822	15,056
その他	14,893	43,814
固定負債合計	2,132,953	2,316,353
負債合計	7,004,104	8,126,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,113,312	1,113,312
利益剰余金	1,984,362	1,578,240
自己株式	△298,543	△323,320
株主資本合計	3,809,331	3,378,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△26,307	△33,858
評価・換算差額等合計	△26,307	△33,858
純資産合計	3,783,024	3,344,573
負債純資産合計	10,787,128	11,471,177

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	5,705,467	5,483,437
売上原価	3,761,036	3,616,000
売上総利益	1,944,431	1,867,437
販売費及び一般管理費	2,054,138	2,051,881
営業損失(△)	△109,706	△184,444
営業外収益		
受取利息	24	35
受取配当金	21	1,022
貸貸収入	2,272	1,999
未払配当金除斥益	2,074	1,795
法人税等還付加算金	2,604	—
その他	2,948	2,173
営業外収益合計	9,945	7,025
営業外費用		
支払利息	50,184	48,488
貸倒引当金繰入額	10,837	—
その他	13,738	13,540
営業外費用合計	74,760	62,029
経常損失(△)	△174,521	△239,447
特別利益		
国庫補助金	17,590	160
特別利益合計	17,590	160
特別損失		
固定資産除却損	326	1,010
投資有価証券評価損	11,432	52,279
関係会社清算損	1,306	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,559	—
和解金	—	20,000
補修工事負担金	—	70,000
特別損失合計	22,624	143,290
税引前四半期純損失(△)	△179,556	△382,578
法人税、住民税及び事業税	6,781	6,339
法人税等調整額	△65,559	△40,555
法人税等合計	△58,777	△34,215
四半期純損失(△)	△120,779	△348,362

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期損益計算書計上額(注)
	エンジニアリング コンサルティング	システム ソリューション	プロダクツ サービス	計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,263,281	2,055,614	1,386,571	5,705,467	5,705,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,263,281	2,055,614	1,386,571	5,705,467	5,705,467
セグメント利益	677,560	601,410	665,460	1,944,431	1,944,431

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期損益計算書計上額(注)
	エンジニアリング コンサルティング	システム ソリューション	プロダクツ サービス	計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,373,888	1,854,064	1,255,484	5,483,437	5,483,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,373,888	1,854,064	1,255,484	5,483,437	5,483,437
セグメント利益	860,797	587,206	419,433	1,867,437	1,867,437

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	1,773,288	103.9
システムソリューション	1,346,758	81.8
プロダクツサービス	862,001	115.2
合計	3,982,048	97.1

- (注) 1 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	2,920,453	112.2	2,046,205	138.0
システムソリューション	1,868,014	79.8	1,249,620	82.7
プロダクツサービス	1,469,795	99.1	506,382	131.4
合計	6,258,263	97.4	3,802,207	112.5

- (注) 1 金額は販売価額によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エンジニアリングコンサルティング	2,373,888	104.9
システムソリューション	1,854,064	90.2
プロダクツサービス	1,255,484	90.5
合計	5,483,437	96.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。